



今年も楽しく「餅づくりの会」を開催

12月27日、桂ヶ丘区の敬老クラブ恵寿会と子ども会による「餅づくりの会」が開催されました。この日用意された餅米の量は40kg。子どもたち10名、大人20名で朝9時から昼過ぎまでかけて杵と臼でつきあげました。つきあがったお餅を丸める人たちも、柔らかく美味しそうな餅に思わずニッコリ。きな粉や大根おろしで食べて、またニッコリ。その笑顔のほっぺは、つきたてのお餅と同じくらいつやつやまん丸で、楽しい一日となりました。



賑やかに吉隈二区で餅つき

12月7日、吉隈二区では福祉部主催の餅つきが行われました。吉隈二区の集会所には、朝早くから子ども、大人約60名が集まり、全員で30kgの餅米をつきあげました。威勢よく杵を振り上げる子どもたちの元気の良さは、大人顔負けでした。“ベッタン♪ベッタン♪”と手際よくつきあがったお餅は、きな粉や大根おろしなどで参加者にかかるまわれ、あまりの美味しさに次々と皆のお腹の中へ。心も体も温まる、賑やかで楽しい餅つきでした。



おめでたい門松で迎えた新年

12月24日、(社)嘉麻・桂川広域シルバー人材センターのメンバーが、桂川町役場の正面玄関前に門松を設置しました。七五三の本数の縄、鮑結び、松竹梅、“難を転ずる”南天、紅白の葉牡丹、“まっ白な新年を祈る”寒水石、“勢い”を表す段違いの竹など、伝統的で立派な門松が寄贈されました。ありがとうございました。



“作り続けて早、30年！”内山田区 常盤会 鉾飾り作り

12月20日、内山田区公民館で内山田地区の老人会「常盤会」の会員による年末恒例の鉾飾り作りが行われました。今回は、鉾飾り作りを始めて30周年の節目の年。秋に内山田地区の稲刈り時に置き置していた、藁を18名で朝8時から編むこと6時間。内山田区の各世帯に配布する30個の立派な鉾飾りが完成しました。今回は、紅白のお饅頭が記念品として鉾飾りに添えられて配られました。記念会に招待された井上町長（写真前列中央）は「30年という長い間、地域の皆さんが集まり、協合力合いながら一つのことを続けられるということは本当に素晴らしい。」と称賛の言葉が贈られました。



第一豆田区 どんど焼き

1月11日、新年を迎え、第一豆田区では福祉部主催の“どんど焼き”が行われ、区民一年間の無病息災を祈願しました。“どんど焼き”は今回で7年目になります。小雪の舞う寒い中でしたが、祈願の炎を背にして、ぜんざいや甘酒・かつほ酒等をいただきながら、世代間交流を図り、心身ともに温まった日となりました。